

瓦礫類収納容器の点検状況

2021年6月24日



東京電力ホールディングス株式会社

1.点検状況

(1) 外観目視点検

- バウンダリ機能（容器、シート養生）が必要※な瓦礫類収納容器(5,338基)の外観目視点検の実施状況 ⇒ 作業スケジュール①
- 2021年4月15日～2021年6月: 6月21日時点 3,246基完了

※飛散抑制（対象：表面線量率（ γ ）で0.1mSv/h以上の瓦礫類の他、表面線量率（ β ）が0.01mSv/h以上の瓦礫類）

(2) 内容物確認

- 内容物の把握に時間を要する、もしくは困難な状況にある瓦礫類収納容器(4,011基)の内容物確認（水分有無を確認含む）の実施（2021年7月～10月）⇒ 作業スケジュール②
- 瓦礫類収納容器の一時保管を申請する際、収納物に水分を含んでいないことを確認するため、2021年7月から収納物の写真を添付して申請する運用に変更予定

作業スケジュール

	2021年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
外観目視点検	①						
内容物確認			②				

※作業スケジュールは天候の影響により変更の可能性あり。

2.モニタリングについて

- バウンダリ機能（容器、シート養生）が必要※な容器を保管している一時保管エリアのモニタリングの強化

＜瓦礫類収納容器の外観目視点検中のモニタリング強化（新規）>

- 容器から放射性物質が漏えいしていないことを確認するため、一時保管エリアの排水経路となっている側溝や溜枳直近の線量当量率（70 μ m, 1cm）を1回/日（日曜日除く）定点測定し、有意な変動が無いことを確認する

＜一時保管エリアのモニタリング＞

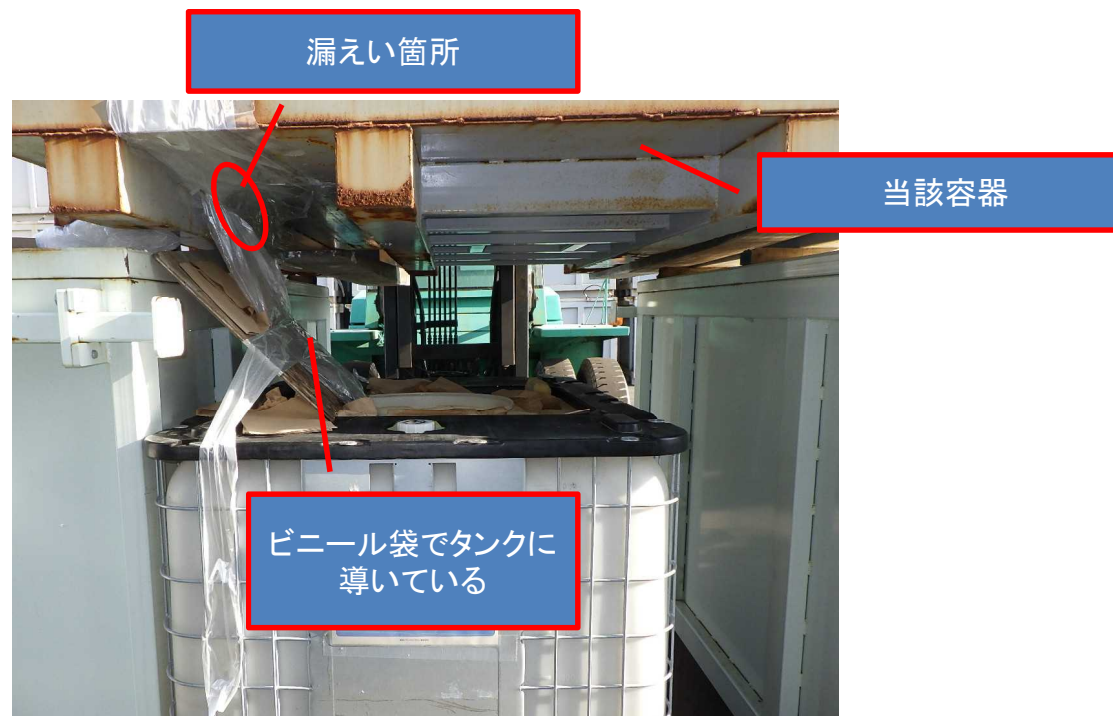
- エリア巡視及び空間線量率測定：1回/週
空気中放射性物質濃度測定：1回/3ヵ月（継続）
- 念のため、容器を移動した都度、移動前に定置していた地表面の線量当量率（70 μ m, 1cm）を測定し、容器からの漏えいが無いことを確認する（新規）

＜雨水排水のモニタリング（継続）＞

- 一時保管エリアの雨水排水経路である陳場沢川（1回/1ヵ月）、物揚場排水路（連続）のモニタリング

【参考】点検中の瓦礫類収納容器からの水漏れ事象について

- 事象：6月1日に一時保管エリアXで瓦礫類収納容器の外観点検を実施していたところ、容器の底面の一部に著しい腐食を発見したため、フィラメントテープで補修した。その後、当該箇所から滲みが確認され、状況確認のためテープを剥がしたところ水が漏えいした。
- 処置内容：水抜きを実施して、フィラメントテープで補修し、6月2日に固体廃棄物貯蔵庫2棟に保管した。
- 容器に水が溜まった原因：当該容器は、蓋と胴体部の隙間部が養生された状態で保管されていたこと、及び容器の内部を確認したところ、吸水シート・紙・ウェスなどは無く、金属ガラ（鉄骨）が確認されたことから、漏えいした水は、金属ガラを瓦礫類収納容器に収納する作業時に混入した雨水の可能性が高いと推定しています。
- 漏えいした水の分析結果：Cs-134：24Bq/L，Cs-137：610Bq/L，全β：760Bq/L



水受けタンクによる漏えい拡散防止の状況

水が漏えいした瓦礫類収納容器の全景



漏えいした水の受けタンク